

05 リデュースの推進

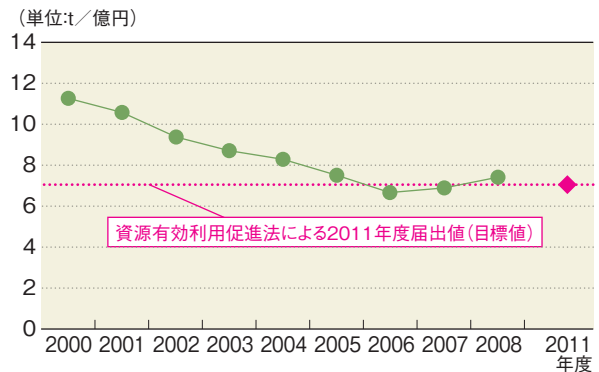
3Rで最初にすべき項目は、リデュース(排出量削減)です。

このため、スズキは小少軽短美の方針の下、材料使用量低減に取り組み、リデュース(排出量削減)を推進しています。

●資源有効利用促進法への取り組み

2001年4月に施行された資源有効利用促進法に基づいて「副産物の発生抑制等に関する計画書」の作成と実績の報告を実施しています。これは金属くず、鋳物廃砂の発生を抑制する目的で行っており、2008年度の出荷額あたりの副産物発生量は7.4t/億円となりました。2011年度目標値は、7.3t/億円としています。

出荷額当たりの副産物発生量



06 グリーン調達への推進

2008年10月1日に「スズキグリーン調達ガイドライン」を改訂しました。

今回の改訂により、スズキの要管理化学物質の対象を、自動車業界における世界的な統一申告物質リスト(GADSL※)と同一化することにしました。

従来の管理が必要な管理対象物質リストは、ガイドライン改訂までの間固定化されていましたが、WEB上でGADSLにリンクすることにより、GADSLの改訂に合わせてスズキの要管理対象物質として取り込むことができるようになりました。

また、欧州化学物質管理法規(REACH)などをグリーン調達に必要な対象法規に加えました。

さらに、REACH対応が必要なお取引様には、個別にREACH規制説明、対応方法の打合せを行い、一緒になって法規の遵守に取り組むことにより、一層のグリーン調達の推進を図っています。

スズキは、この「グリーン調達ガイドライン」に基づき、上記の様に、最新法規に準じた部品・材料作りを促し、環境保全に積極的なお取引先様を優先することにより、環境負荷の少ない部品・材料等の調達活動を進めています。

※GADSL: Global Automobile Declaration Substance List (業界共通の管理リスト)



グリーン調達に関する説明会